

「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プラン の推進状況について（令和3年中）

1 要旨・目的

「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プランの推進状況（令和3年中）について報告するもの

2 現状・背景

【第5期アクション・プランの運動目標及び重点項目】

○ 運動目標

住む人 来る人 誰もが日本一の安全安心を実感できる広島県の実現

○ 重点項目

- ・ 不安に感じる犯罪の抑止
- ・ 子供・女性・高齢者等の安全確保
- ・ 特殊詐欺被害の抑止
- ・ インターネット利用犯罪被害の防止

3 概要

(1) 調査対象

—

(2) 調査期間

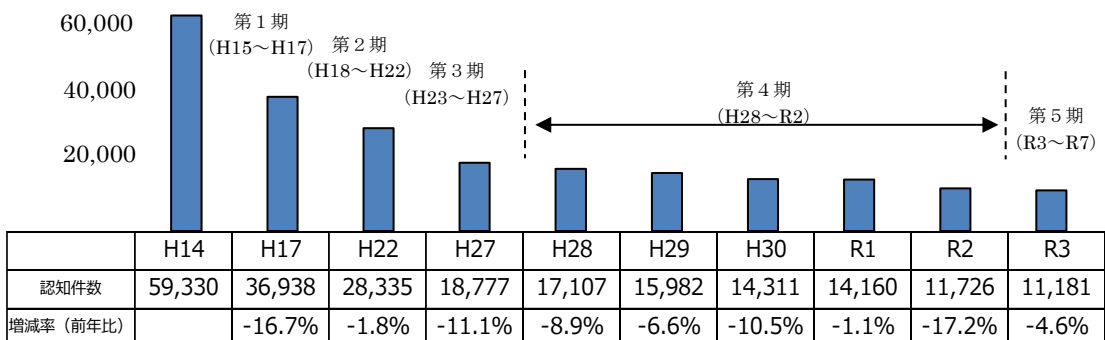
令和3年1月～12月

(3) 調査結果

ア 運動目標の推進指標

(ア) 刑法犯認知件数【指標：12,000件以下】

11,181件(前年比-545件, -4.6%) (R3:暫定値)



減少犯罪 ①自転車盗(-427件) ②傷害・傷害致死(-89件) ③器物損壊等(-83件)
増加犯罪 ①詐欺(+110件) ②万引き(+85件) ③暴行(+53件)

(イ) 治安良好と感じる人の割合【指標：90%以上】

	H29	R2	前回比
治安良好と感じる人の割合	85.3%	86.9%	+1.6ポイント

イ 重点項目の取組指標 (R3:暫定値)

(ア) 不安に感じる犯罪 (8罪種) の認知件数【指標:5,500件以下】

	H29	H30	R1	R2	R3
認知件数	7,725件	6,681件	6,619件	5,260件	4,661件
増減率 (前年比)	-7.8%	-13.5%	-0.9%	-20.5%	-11.4%

○ 自転車盗(-427件), 器物損壊等(-83件), 車上ねらい(-43件) が大きく減少
 ※不安に感じる犯罪 ~ 自転車盗, 車上ねらい, 器物損壊等, 侵入強盗, 侵入窃盗, 住居侵入, 強制性交等, 強制わいせつの8罪種

(イ) 子供・女性・高齢者が被害者となる犯罪の認知件数【指標:4,800件以下】

	H29	H30	R1	R2	R3
認知件数	6,536件	5,835件	5,755件	4,584件	4,338件
増減率 (前年比)	-6.2%	-10.7%	-1.4%	-20.3%	-5.4%

○ 子供, 女性の被害が減少, 高齢者の被害が増加 (+58件)

(ウ) 特殊詐欺の年間被害総額【指標:2億円以下】

a 特殊詐欺の認知件数

	H29	H30	R1	R2	R3
認知件数	405件	183件	175件	136件	202件(前年比+48.5%)
被害総額	約10億1,592万円	約3億6,511万円	約3億2,180万円	約2億4,105万円	約4億7,276万円(前年比+96.1%)

※被害額の多い上位3手口: ①架空料金請求詐欺 (61件 約2億5,201万円), ②オレオレ詐欺 (42件 約1億1,685万円), ③還付金詐欺 (52件 約4,582万円)

b 特殊詐欺の水際阻止状況

	H29	H30	R1	R2	R3
阻止件数	376件	235件	169件	209件	506件(前年比+142.1%)
阻止額	約2億6,159万円	約1億6,170万円	約9,767万円	約8,834万円	約1億7,255万円(前年比+95.3%)

(エ) インターネット利用犯罪被害の防止

フィルタリング (スマートフォン) の使用率【指標:37%以上】

令和3年度 29.2%

※当県における「子ども・若者育成支援推進法に基づく対応方針」で定めている指標を引用

(4) 今後の対応

【令和4年における基本的な取組方向】

ア 特殊詐欺被害の抑止

○ 多様な主体による特殊詐欺被害の抑止対策の推進

イ 子供・女性・高齢者等の安全確保

○ 事業者による「ながら見守り」の推進など防犯CSR活動の促進

○ 地域ぐるみで子供・女性・高齢者等を犯罪から守る環境の構築と取組の強化

ウ 不安に感じる犯罪の抑止

○ 不安に感じる犯罪に関する効果的な情報発信

○ ガイドラインに基づく防犯カメラの設置促進

エ インターネット利用犯罪被害の防止

○ サイバー犯罪への抵抗力の強化

○ スマートフォン等のフィルタリングの利用促進

4 その他

広島県警察ホームページリンク先 (第5期ひろしまアクション・プランの概要)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police8/041-herasou-plan5-plan5.html>